

年 間 授 業 計 画

1 科目名	物理基礎	2 履修学年	第2学年
3 必修・選択	必修	4 履修単位	2単位
5 教科書	数研出版 改訂版 新編物理基礎		
6 副教材等	数研出版 改訂版 新編物理基礎 準拠ノート		
7 学習目標	日常生活や社会との関連を図りながら物体の運動と様々なエネルギーへの関心を高め、目的意識をもって観察、実験などを行い、物理学的に探究する能力と態度を身につけるとともに、物理学の基本的な概念や原理・法則を理解し、科学的な見方や考え方を養う。		
8 年間授業計画			
月	学 習 単 元	学 習 事 項 等	
4	運動とエネルギー 運動の表し方	速度 加速度	
5	運動とエネルギー 運動の表し方	落体の運動	
6	運動とエネルギー 運動の法則	力とそのはたらき 力のつりあい 運動の法則	
7	運動とエネルギー 仕事と力学的エネルギー	仕事 運動エネルギー、位置エネルギー 力学的エネルギーの保存	
9	熱 熱とエネルギー	熱と熱量 熱と物質の状態	
10	熱 熱とエネルギー	熱と仕事 不可逆変化と熱機関	
11	波 波の性質	波と媒質の運動 重ねあわせの原理	
12	波 音	音の性質 発音体の振動と共振・共鳴	
1	電気 物質と電気抵抗	電気の性質 電流と電気抵抗 電気とエネルギー	
2	電気 磁場と交流	電流と磁場 交流と電磁波	
3	物理学と社会 エネルギーの利用 物理学が拓く世界	エネルギーの移り変わり エネルギー資源と発電 日常生活を支えている物理	
9 評価の観点・方法			
定期考査を中心に、小テスト、ノート、プリント、実験レポートなどの提出物、授業に対する意欲や取り組みを総合的に判断し、評価する。			
10 学習上の留意点			
実験・視聴覚教材を通して、物理現象を理解する。また、演習を繰り返すことで自らの知識技術の定着を行う。			